

平成18年度事業報告書

平成18年5月1日から平成19年4月30日まで

(特定非営利活動法人 GEMBU)

1 事業の成果

当法人の会員数は、正会員75名、賛助会員29名となりましたが、昨年度からほとんど増加することができませんでした。来年度以降、当法人の活動を広め、会員を増やす活動を行なっていきたいと考えております。

植樹事業につきましては、7月と9月に昨年度に植樹した場所での草取り会を実施しました。会員と昨年植樹祭に参加していただいた方々と総勢30名ほどで行いました。10月9日、10月23日にはどんぐり拾いを実施。会員や、有志の方々と、トチ、ナラの実を拾いました。

10月15日に、「第2回ふるさとの森10,000本植樹祭」を昨年と同じ大畑町水木沢の旧大畑線防風林跡地において開催いたしました。

当法人の名誉顧問であり、横浜国立大学名誉教授である宮脇昭先生も昨年同様に陣頭指揮をとっていただき、参加者総勢200人、植樹本数約10,000本を行ないました。むつ市からも全面的な協力を受けました。

参加者は昨年よりかなり減りました。これは他の行事(産業祭り)と重なった為と思われる。来年度以降は他の行事と重なることが比較的少ない6月での開催を実施していく計画で進めております。第2回目の植樹祭では、少人数であったにもかかわらず、昨年以上の本数を植えたため、参加者にかなりの負担を強いることにもなりました。参加人数の事前把握をよりしっかりと行なうことが今後必要とされると実感しております。県外参加者は昨年よりは減ったものの50名以上あり、都市生活者と地元住民との交流の場を設けるという目的は継続されていると考えております。

植樹した苗木は、むつ市川内庁舎が管理する温室で育てておりましたが、春先の好天の影響で温室が異常な暑さとなり、残念ながらかなりの苗木が枯れてしまいました。

来年度に関しましては、6月にむつ市川内町において、廃校となった畑小中学校に工程を中心に植樹祭を開催する予定です。また、第1回、第2回の植樹祭を開催した大畑における草取り会の実施を予定しております。

今年度末に、植樹祭やポット苗作りを小中学校の児童の野外教育の一環として取り入れていただくよう、むつ市を通じて川内の小中学校に働きかけを行なった結果、来年度の植樹祭には川内の一部の小学校の学校行事として参加していただける運びとなりました。植樹やポット苗作りを通して自然とふれあい、環境問題等を考えてもらえればとおもって降ります。今後はむつ市全体の小中学校への働きかけを行なっていく計画で降ります。

当法人のもうひとつの事業である「鉄道文化遺産の保存」事業については、今年度は主だった活動は当法人としては行ないませんでしたが、当法人の正会員でもある「大畑線キハ85動態保存会」の方々が、定例の運転会や地元ボランティアと協力しての活動を継続して行なっております。

今年度は、今後の当法人の活動のあり方につき、土台作りをはじめた年度と考えております。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
ふるさとの森 づくり事業	・ どんぐり拾い	10月 9日	薬研野営場	30名	地元在住者 30名	15
	・ ふるさとの森 10,000 本植樹祭	10月 15日	むつ市大畑 町水木沢		地元在住者、 県外参加者 215名	1,644